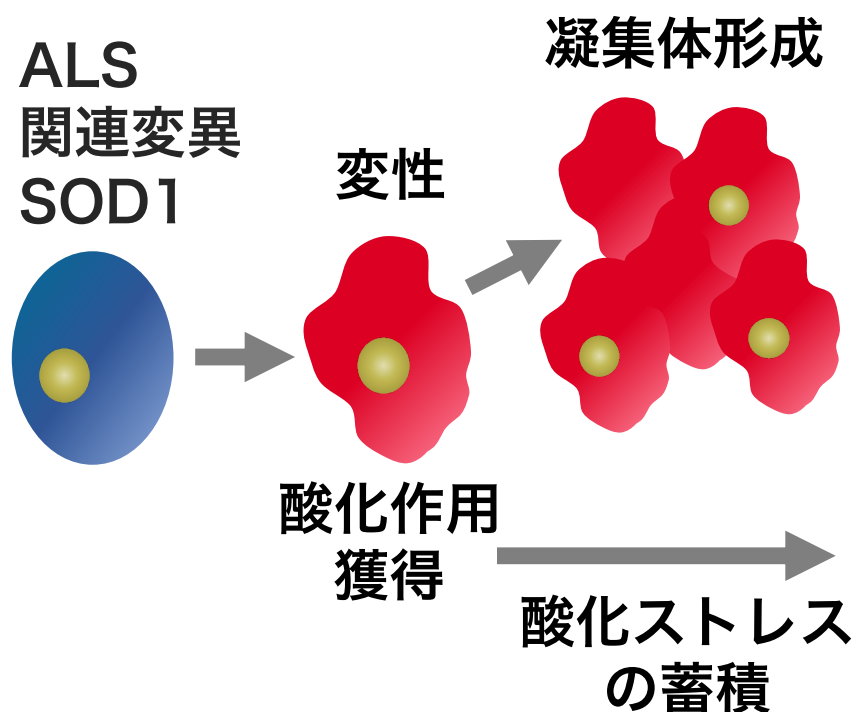


ALS関連タンパク質の毒性発現機構を探る



- ALS関連金属結合タンパク質(変異SOD1)は、変性によって強い酸化作用を示す
- 銅イオンと結合したアミノ酸残基が一つ無くなるのみで、強い酸化作用が生じることを明らかにした
- 金属イオン濃度が、変性と酸化作用の獲得において、重要であることを示した

開発・推進

東北大学大学院薬学研究科生物構造化学分野

参考資料等

N. Fujimaki, T. Miura, T. Nakabayashi, (2016) The Structural Analysis of the Pro-Oxidant Copper-Binding Site of Denatured Apo-H43R SOD1 and the Elucidation of the Origin of the Acquisition of the Pro-Oxidant Activity. *Physical Chemistry Chemical Physics*, 18, 4468-4475.